

地域子ども・子育て支援事業に係る量の見込みと確保方策(案)について

【提供区域】 区全域

事業名		実施時期(年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	利用者支援事業	特定型	量の見込み(カ所)	1	1	1	1	1
			確保方策(カ所)	1	1	1	1	1
		母子保健型	量の見込み(カ所)	12	12	12	12	12
			確保方策(カ所)	12	12	12	12	12
2	時間外保育事業	量の見込み(人)	3,388	3,388	3,388	3,388	3,388	
		量の見込み(カ所)	127	127	127	127	127	
		確保方策(カ所)	114	123	127	127	127	
3	放課後児童健全育成事業 (学童保育クラブ事業)	内訳	量の見込み(人)	5,278	5,278	5,278	5,278	5,278
			小学校1年生	1,757	1,757	1,757	1,757	1,757
			小学校2年生	1,647	1,647	1,647	1,647	1,647
			小学校3年生	1,293	1,293	1,293	1,293	1,293
			小学校4年生	449	449	449	449	449
			小学校5年生	100	100	100	100	100
			小学校6年生	32	32	32	32	32
確保方策(人)	4,875	4,975	5,075	5,175	5,278			
4	子育て短期支援事業	ショートステイ	量の見込み(延べ人数)	604	604	604	604	604
			確保方策(延べ人数)	1,795	1,795	1,795	1,795	1,795
			確保方策(カ所)	1	1	1	1	1
		トワイライトステイ	量の見込み(延べ人数)	244	244	244	244	244
			確保方策(延べ人数)	3,590	3,590	3,590	3,590	3,590
			確保方策(カ所)	1	1	1	1	1
5	地域子育て支援拠点事業 (子育てひろば事業)	量の見込み(延べ人数)	206,700	206,700	206,700	206,700	206,700	
		量の見込み(カ所)	53	53	53	53	53	
		確保方策(カ所)	52	52	52	53	53	
6	一時預かり事業	幼稚園等	量の見込み(延べ人数)	185,751	185,751	185,751	185,751	185,751
			内、定期利用保育(延べ人数)	26,250	26,250	26,250	26,250	26,250
			確保方策(延べ人数)	124,854	140,078	155,302	170,526	185,751
			確保方策(カ所)	29	29	29	29	29
		保育所等	量の見込み(延べ人数)	28,860	28,860	28,860	28,860	28,860
			確保方策(延べ人数)	27,380	28,120	28,120	28,860	28,860
確保方策(カ所)	37	38	38	39	39			

事業名		実施時期(年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
7	病児・病後児保育事業	量の見込み(延べ人数)	4,065	4,065	4,065	4,065	4,065
		確保方策(延べ人数)	10,368	11,328	11,328	11,328	11,328
		確保方策(カ所)	11	12	12	12	12
8	子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業)	就学前児童預かり 量の見込み(延べ人数)	2,325	2,325	2,325	2,325	2,325
		就学児童預かり 量の見込み(延べ人数)	1,159	1,159	1,159	1,159	1,159
		確保方策(延べ人数)	2,325	2,325	2,325	2,325	2,325
9	乳児家庭全戸訪問事業 (こんにちは赤ちゃん訪問事業)	量の見込み(人)	3,602	3,787	3,614	3,621	3,630
		確保方策 (訪問指導員数)	23	23	23	23	23
10	養育支援訪問事業	量の見込み(延べ人数)	489	489	489	489	489
		量の見込み(カ所)	6	6	6	6	6
		確保方策(カ所)	6	6	6	6	6
11	妊婦健康診査事業	量の見込み(初回健診数)	3,787	3,614	3,621	3,630	3,644
		確保方策 (妊婦健診実施回数)	14	14	14	14	14
		確保方策 (超音波検査実施回数)	1	1	1	1	1

量の見込みと確保方策算出方法

●時間外保育事業

○量の見込み

【過去3カ年実績（利用人員）】

①平成27年度実績…ア	2,469	人
②平成28年度実績…イ	2,659	人
③平成29年度実績…ウ	3,014	人

【過去3カ年実績（保育施設在園者数）】…※1

①平成27年度4月現在…エ	8,826	人
②平成28年度4月現在…オ	9,520	人
③平成29年度4月現在…カ	10,087	人

※1 保育施設在園者数には、認可保育園、認定こども園及び小規模保育事業所が含まれている。

【過去3カ年実績（時間外保育事業利用率）】

①平成27年度利用率…ア/エ	28.0	%
②平成28年度利用率…イ/オ	27.9	%
③平成29年度利用率…ウ/カ	29.9	%

時間外保育事業利用率平均

28.6 %

【今後5年間の量の見込み（（2号認定＋3号認定）×時間外保育事業利用率平均）】

	2号認定	3号認定	量の見込み
①令和2年度	5,746	5,539	3,228 人
②令和3年度	5,967	5,880	3,388 人
③令和4年度	5,852	5,915	3,365 人
④令和5年度	5,840	5,810	3,332 人
⑤令和6年度	5,882	5,712	3,316 人

○確保方策

保育施設の新規整備に連動していく。

量の見込みと確保方策算出方法

●放課後児童健全育成事業（学童保育クラブ事業）

○量の見込み

【過去3カ年4月1日現在の状況（在籍者数＋待機児童数＝利用希望人員）】（単位：人）

		小学校1年生	小学校2年生	小学校3年生	小学校4年生	小学校5年生	小学校6年生	合計
平成29年度	①在籍児童数	1,561	1,492	1,158	310	62	16	4,599
	②待機児童数	0	6	21	91	15	6	139
	③利用希望人員（①＋②）	1,561	1,498	1,179	401	77	22	4,738
平成30年度	①在籍児童数	1,641	1,503	1,172	331	66	26	4,739
	②待機児童数	20	7	49	100	36	2	214
	③利用希望人員（①＋②）	1,661	1,510	1,221	431	102	28	4,953
平成31年度	①在籍児童数	1,660	1,568	1,144	324	57	22	4,775
	②待機児童数	11	13	63	98	46	9	240
	③利用希望人員（①＋②）	1,671	1,581	1,207	422	103	31	5,015

【過去3カ年5月1日現在の区立小学校在籍児童数と6～11歳人口の比較】

	区立小学校在籍児童数合計…A	6～11歳人口合計…B	A/B*100
①平成29年度	20,322	21,239	95.7
②平成30年度	20,354	21,512	94.6
③平成31年度	20,414	21,576	94.6

→推計区立小学校在籍児童数について、区立小学校在籍児童数に対する

6～11歳人口合計の過去3カ年の平均

(95.7+94.6+94.6) ÷ 3である **95.0** %を推計6～11歳人口にかけ求めるものとする。

【過去3カ年利用希望率実績（利用希望人員÷区立小学校在籍児童数）（単位：%）】

	合計
①平成29年度	0.23
②平成30年度	0.24
③平成31年度	0.25

区立小学校在籍児童数に対する
利用希望率を最も大きい

0.25 %とする。

【過去3カ年平均（利用人員）】（単位：人）

		小学校1年生	小学校2年生	小学校3年生	小学校4年生	小学校5年生	小学校6年生	合計
過去3カ年平均	①在籍児童数	1,621	1,521	1,158	322	62	21	4,704
	②待機児童数	10	9	44	96	32	6	198
	③利用人員（①＋②）	1,631	1,530	1,202	418	94	27	4,902

【過去3カ年平均に基づく児童の構成比】（単位：%）

		小学校1年生	小学校2年生	小学校3年生	小学校4年生	小学校5年生	小学校6年生	合計
構成比	学年ごとの利用人員/利用人員合計	33.3	31.2	24.5	8.5	1.9	0.6	100

【今後5年間の量の見込み（利用延べ人員）】

各年度の推計区立小学校在籍児童数の算出

	推計6～11歳人口	比率	推計区立小学校在籍児童数	利用希望率	推計学童利用希望数
①令和2年度	21,624	0.95	20,543	0.25	5,136
②令和3年度	21,704		20,618		5,155
③令和4年度	21,889		20,795		5,199
④令和5年度	22,127		21,021		5,255
⑤令和6年度	22,221		21,110		5,278

		小学校1年生	小学校2年生	小学校3年生	小学校4年生	小学校5年生	小学校6年生	合計
		0.333	0.312	0.245	0.085	0.019	0.006	
①令和2年度	5,136	1,710	1,602	1,258	437	98	31	5,136
②令和3年度	5,155	1,717	1,608	1,263	438	98	31	5,155
③令和4年度	5,199	1,731	1,622	1,274	442	99	31	5,199
④令和5年度	5,255	1,750	1,640	1,287	447	100	31	5,255
⑤令和6年度	5,278	1,758	1,647	1,293	449	100	32	5,278

○確保方策

5,278人（量の見込み）－4,775人（31年度在席者数）÷5＝100

（端数については、最終年度で調整）していく。

量の見込みと確保方策算出方法

●子育て短期支援事業（ショートステイ事業、トワイライトステイ事業）

○量の見込み

【過去3カ年実績（利用述べ人員）】（単位：人）

	ショートステイ事業	トワイライトステイ事業
①平成28年度実績	248	222
②平成29年度実績	576	311
③平成30年度実績	632	198

【平均利用述べ人員】（単位：人）

	ショートステイ事業…※1	トワイライトステイ事業
平均利用延べ日数	604	244

※1 平成28年度実績が少ないため、29年度と30年度の2か年を平均している。

【今後5年間の量の見込み（利用延べ人員）】（単位：人）

	ショートステイ事業	トワイライトステイ事業
①令和2年度	604	244
②令和3年度	604	244
③令和4年度	604	244
④令和5年度	604	244
⑤令和6年度	604	244

○確保方策

【ショートステイ事業】

利用延べ人員に応じた施設を確保していく。

カ所数（1カ所）に定員（5人）と利用可能日（年末年始除く毎日＝359日）をかけた数値

【トワイライトステイ事業】

利用延べ人員に応じた施設を確保していく。

カ所数（1カ所）に定員（10人）と利用可能日（年末年始除く毎日＝359日）をかけた数値

量の見込みと確保方策算出方法

●地域子育て支援拠点事業（子育てひろば）

○量の見込み

【過去5カ年実績（利用述べ人員）】

①平成26年度実績…ア	161,029	人
②平成27年度実績…イ	173,125	人
③平成28年度実績…ウ	187,567	人
④平成29年度実績…エ	176,902	人
⑤平成30年度実績…オ	163,054	人

【過去5カ年実績（実施箇所）】

①平成26年度実績…カ	37	箇所
②平成27年度実績…キ	40	箇所
③平成28年度実績…ク	42	箇所
④平成29年度実績…ケ	45	箇所
⑤平成30年度実績…コ	47	箇所

【過去5カ年実績（1箇所あたりの利用延べ人員）】

①平成26年度実績…ア/カ	4,352	人
②平成27年度実績…イ/キ	4,328	人
③平成28年度実績…ウ/ク	4,466	人
④平成29年度実績…エ/ケ	3,931	人
⑤平成30年度実績…オ/コ	3,469	人

【今後5年間の量の見込み（利用延べ人員）】

①令和2年度	202,800	人
②令和3年度	202,800	人
③令和4年度	202,800	人
④令和5年度	206,700	人
⑤令和6年度	206,700	人

上記29年度までの実績を基に作成した後期実施計画の見込みと同じ考え方で算出
近年減少傾向にあるため、29年度実績の1施設あたりの利用数を丸めて3,900
人を整備する年度に上乗せしていく。

○確保方策

保育施設の新規整備に連動していく。

量の見込みと確保方策算出方法

●一時預かり事業（保育所等、幼稚園等）

○量の見込み

【過去5カ年実績（利用述べ人員）】（単位：人）

	幼稚園等		保育所等
	通年型預かり保育	内、定期利用保育	一時預かり
①平成26年度実績			25,115
②平成27年度実績			27,552
③平成28年度実績	22,742		29,157
④平成29年度実績	40,037		23,206
⑤平成30年度実績	56,705	5,299	19,977
幼稚園等在籍者（区民）との比率	13.7		30年度幼稚園等在籍者 4,137人

【過去5カ年実績（実施カ所）】（単位：カ所）

	幼稚園等		保育所等
	通年型預かり保育	内、定期利用保育	一時預かり
①平成26年度実績			22
②平成27年度実績			25
③平成28年度実績	7		27
④平成29年度実績	12		31
⑤平成30年度実績	15	7	32

【過去5カ年実績（利用人員／実施カ所）】（単位：人）

	幼稚園等		保育所等
	通年型預かり保育	内、定期利用保育	一時預かり
①平成26年度実績			1,142
②平成27年度実績			1,102
③平成28年度実績	3,249		1,080
④平成29年度実績	3,336		749
⑤平成30年度実績	3,780	757	624

○幼稚園等（通年型預かり保育）の量の見込みの考え方

幼稚園園児保護者の就労状況等に関する調査において

- ・無償化により費用負担がなくなる・少なくなるなら、新たに保育の事業等の利用を追加したい
- ・無償化により費用負担がなくなる・少なくなるなら、現在利用している教育・保育の事業等を変更したい

のいずれかを選択した人について、「幼児教育・保育の無償化の実施後に利用を希望する平日の教育・保育の事業等はどれですか。」の問いに対し、

59.6 %の人が、幼稚園の預かり保育を希望している。

よって、令和6年度における1号認定の人数に59.6%をかけた数値を、最終的な量の見込みの人数とする。

通年型預かり保育（単位：人）

	1号認定…A	A×13.7（預かり保育と在籍数比率）…C	A×預かり保育希望割合（59.6%）…B	B×13.7（預かり保育と在籍数比率）…D	計C+D
令和2年度	4,314	59,102	2,571	35,223	94,325
令和3年度	4,462	61,129	2,659	36,428	97,557
令和4年度	4,370	59,869	2,605	35,689	95,558
令和5年度	4,360	59,732	2,599	35,606	95,338
令和6年度	4,394	60,198	2,619	35,880	96,078

○幼稚園等（定期利用保育）の量の見込みの考え方

定期利用保育については、実績が1年分しか出ておらず実績を基に算出することが難しいため、令和4年度までは後期実施計画の見込みとし、令和5年以降は後期実施計画上の1施設当たり1,250人×1園とする。

	定期利用保育
①令和2年度	18,750
②令和3年度	21,250
③令和4年度	23,750
④令和5年度	23,750
⑤令和6年度	23,750

○保育園等の量の見込みの考え方

後期実施計画の見込みと同じ考え方で算出

	保育所等一時預かり	一時保育を実施する保育所等の数	1施設あたりの利用者数
①平成26年度実績	25,115	22	1,142
②平成27年度実績	27,552	25	1,102
③平成28年度実績	29,157	27	1,080
④平成29年度実績	23,206	31	749

近年減少傾向にあるため、29年度実績の1施設あたりの利用数を丸めて740人を整備施設数に上乘せしていく。

【今後5年間の量の見込み（利用延べ人員）】（単位：人）

	幼稚園等		保育所等	
	通年型預かり保育	内、定期利用保育	一時預かり	施設数
①令和2年度	94,325	18,750	27,380	37
②令和3年度	97,557	21,250	28,120	38
③令和4年度	95,558	23,750	28,120	38
④令和5年度	95,338	23,750	28,860	39
⑤令和6年度	96,078	23,750	28,860	39

●幼稚園における預かり保育自体は29園で実施しているため、

通年型預かり保育は、上記15園のほかに、14園でも行っているが園から都に直接報告しているため、その実績が不明なので令和2年～6年の15園の見込みからそれぞれ想定する。

	幼稚園等			幼稚園等	
		通年型預かり保育		29園計	
①令和2年度	94,325	$(94,325 \div 15 \text{園}) \times 14 \text{園}$	→88,037	182,362	
②令和3年度	97,557	$(97,557 \div 15 \text{園}) \times 14 \text{園}$	→91,053	188,610	
③令和4年度	95,558	$(95,558 \div 15 \text{園}) \times 14 \text{園}$	→89,187	184,745	
④令和5年度	95,338	$(95,338 \div 15 \text{園}) \times 14 \text{園}$	→88,982	184,320	
⑤令和6年度	96,078	$(96,078 \div 15 \text{園}) \times 14 \text{園}$	→89,673	185,751	

29園では、令和6年度の見込み185,751を利用人員とする。

○確保方策

- ①通年型預かり保育平成30年度実績 15園で56,705人。
 →残り14園では、 $(56,705 \text{人} \div 15) \times 14 = 52,925 \text{人}$
 29園では、 $56,705 \text{人} + 52,925 \text{人} = 109,630 \text{人}$ の利用人員とする。
 $185,751 \text{人 (量の見込み)} - 109,630 \div 5 = 15,224$
 (端数については、最終年度で調整) していく。

- ②定期利用保育平成30年度実績 5,299人。
 $23,750 \text{人 (量の見込み)} - 5,299 \div 5 = 3,690$
 (端数については、最終年度で調整) していく。

- ③一時預かり保育事業
 令和6年度利用人数が28,860人のため、39施設整備する必要がある。

量の見込みと確保方策算出方法

●病児・病後児保育事業

○病後児保育量の見込み

【過去5カ年実績（利用述べ人員）】

①平成26年度実績…ア	1,096	人
②平成27年度実績…イ	994	人
③平成28年度実績…ウ	1,295	人
④平成29年度実績…エ	1,446	人
⑤平成30年度実績…オ	1,650	人

【過去5カ年実績（区内在住者（1歳～就学前））】

①平成26年度4月現在…カ	18,185	人
②平成27年度4月現在…キ	18,293	人
③平成28年度4月現在…ク	18,370	人
④平成29年度4月現在…ケ	18,506	人
⑤平成30年度4月現在…コ	18,573	人

【過去5カ年実績（病後児保育事業利用率）】

①平成26年度利用率…ア/カ	6.0	%		上昇率	
②平成27年度利用率…イ/キ	5.4	%	→	-0.6	%
③平成28年度利用率…ウ/ク	7.0	%	→	1.6	%
④平成29年度利用率…エ/ケ	7.8	%	→	0.8	%
⑤平成30年度利用率…オ/コ	8.9	%	→	1.1	%

1年あたりの病児・病後児保育事業利用上昇率 **0.7** %…※1

※1 利用上昇率は、（過去4年間の上昇率）÷4としている。

【今後5年間の量の見込み（（1歳～5歳）×病後児保育事業利用率）】

①令和2年度	2,220	人（利用率10.3%）
②令和3年度	2,506	人（利用率11.0%）
③令和4年度	2,636	人（利用率11.7%）
④令和5年度	2,771	人（利用率12.4%）
⑤令和6年度	2,918	人（利用率13.1%）

○病児保育量の見込み

【過去5カ年実績（利用述べ人員）】

※便宜上、堀切・東部が平成26年からある前提で実績を作成しています。

①平成26年度実績…ア	954	人	2施設実績591+堀切159+東部204
②平成27年度実績…イ	1,079	人	2施設実績716+堀切159+東部204
③平成28年度実績…ウ	1,197	人	2施設実績834+堀切159+東部204
④平成29年度実績…エ	1,093	人	3施設実績863+堀切26（2月分）+東部204
⑤平成30年度実績…オ	1,061	人	4施設実績989+東部72（10月分）

【過去5カ年実績（区内在住者（0歳～3年生））】

①平成26年度4月現在…カ	35,680	人
②平成27年度4月現在…キ	36,040	人
③平成28年度4月現在…ク	36,270	人
④平成29年度4月現在…ケ	36,652	人
⑤平成30年度4月現在…コ	36,493	人

【過去5カ年実績（病児保育事業利用率）】

①平成26年度利用率…ア/カ	2.7%		上昇率	
②平成27年度利用率…イ/キ	3.0%	→	0.3%	
③平成28年度利用率…ウ/ク	3.3%	→	0.3%	
④平成29年度利用率…エ/ケ	3.0%	→	-0.3%	
⑤平成30年度利用率…オ/コ	2.9%	→	-0.1%	

1年あたりの病児・病後児保育事業利用上昇率 **0.1** %…※1

※1 利用上昇率は、（過去4年間の上昇率）÷4としている。

令和3年から1施設増えるので、令和3年度からは0.13とする。

【今後5年間の量の見込み（0歳～8歳）×病児保育事業利用率】

①令和2年度	1,010人	（利用率3.1%）
②令和3年度	1,020人	（利用率3.13%）
③令和4年度	1,062人	（利用率3.26%）
④令和5年度	1,105人	（利用率3.39%）
⑤令和6年度	1,147人	（利用率3.52%）

○確保方策

地域バランスを考慮して1施設病児保育施設を整備していく。

定員

区分	施設	開設日数（週）	開設日数（年）	定員	延べ人員
病後児	砂原保育園	5	240	4	960
病後児	本田こひつじ保育園	5	240	4	960
病後児	たつみ保育園	5	240	4	960
病後児	住吉保育園	5	240	4	960
病後児	中青戸保育園	5	240	4	960
病後児	小合保育園	5	240	4	960
病後児	小谷野しょうぶ保育園	6	288	4	1,152
病児	新小岩わんぱくクリニック	4	192	4	768
病児	堀切二丁目病児保育室	4	192	4	768
病児	水元保育園	5	240	4	960
病児	東部地域病院病児保育室	5	240	4	960
				計	10,368

病児保育事業所の新規施設数の延べ人員は960人とする。

量の見込みと確保方策算出方法

●子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）

○量の見込み

【過去3カ年実績（利用述べ人員）】（単位：人）

	就学前児童預かり	就学児童預かり	年間利用人数
①平成27年度実績	1,324	1,002	2,326
②平成28年度実績	1,306	1,183	2,489
③平成29年度実績	868	1,291	2,159

【平均利用述べ人員】（単位：人）

	就学前児童預かり	就学児童預かり	年間利用人数
平均利用延べ人員	1,166	1,159	2,325

【今後5年間の量の見込み（利用延べ人員）】（単位：人）

	就学前児童預かり	就学児童預かり	年間利用人数
①令和2年度	1,166	1,159	2,325
②令和3年度	1,166	1,159	2,325
③令和4年度	1,166	1,159	2,325
④令和5年度	1,166	1,159	2,325
⑤令和6年度	1,166	1,159	2,325

○確保方策

量の見込みと同数とする。

量の見込みと確保方策算出方法

●乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん訪問事業）

○量の見込み

0歳児の推計人口とする。

①令和2年度	3,602	人
②令和3年度	3,787	人
③令和4年度	3,614	人
④令和5年度	3,621	人
⑤令和6年度	3,630	人

○確保方策

利用人員に応じた訪問指導員数を確保していく。

量の見込みと確保方策算出方法

●養育支援訪問事業

○量の見込み

【過去3カ年実績（利用述べ人員）】

①平成28年度実績	185	人
②平成29年度実績	524	人
③平成30年度実績	454	人

【平均利用述べ人員】

平均利用延べ日数	489	人
----------	-----	---

※1 平成28年度実績が少ないため、29年度と30年度の2か年を平均している。

【今後5年間の量の見込み（利用延べ人員）】

①令和2年度	489	人
②令和3年度	489	人
③令和4年度	489	人
④令和5年度	489	人
⑤令和6年度	489	人

○確保方策

利用延べ人員に応じた実施カ所を確保していく。

量の見込みと確保方策算出方法

●妊婦健康診査事業

○量の見込み

【過去3年間の実績（初回健診者数及び翌年度0歳児の数）（初回健診数）】

	初回健診者数…ア	翌年度0歳児の数…イ	比率…ア/イ
①平成28年度	3,669	3,691	0.99
②平成29年度	3,567	3,521	1.01
③平成30年度	3,457	3,449	1.00

※過去3年間の、翌年度0歳児の数の対する平均初回健診者率 **1.00** %
とする。

→よって、翌年度0歳児の数と初回健診者数の数を同数とする。

【人口推計に基づく将来の0歳児の数】

①令和3年度	3,787	人
②令和4年度	3,614	人
③令和5年度	3,621	人
④令和6年度	3,630	人
⑤令和7年度	3,644	人

【量の見込み】

①令和3年度	3,787	人
②令和4年度	3,614	人
③令和5年度	3,621	人
④令和6年度	3,630	人
⑤令和7年度	3,644	人

○確保方策

引き続き妊婦健診と超音波検査を実施していく。